

項目	内容
名称	ビオチン [英]Biotin [学名]-
概要	ビオチンは、皮膚炎を予防する因子として発見された水溶性ビタミンの一つである。糖質や脂質、アミノ酸の代謝やエネルギー産生に関わり、皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素である。腸内細菌によっても合成され、通常欠乏症はまれであるが、生卵白の長期にわたる摂取により欠乏症が生じることがある。
法規・制度	■食薬区分 ・ビオチン (ビタミンH)：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 ■食品添加物 ・指定添加物：強化剤 ・食品衛生法に基づく、「食品、添加物等の規格基準」により、調製粉乳、調製液状乳、母乳代替食品、特定保健用食品及び栄養機能食品以外の食品に使用してはならない。また、母乳代替食品に使用する場合は、その100 kcalにつき、ビオチンとして10µgを超える量を含有しないように使用しなければならない。→ 使用基準 ■栄養機能食品 ・ 「栄養機能食品」 の対象成分である (下限値：15 µg、上限値：500 µg)。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・分子式 $C_{10}H_{16}N_2O_3S$ 、分子量 (MW) 244.31 (32)。
分析法	・Lactobacillus plantarumを使用した微生物学的定量法で測定 (101) (102)。 ・ビオチン要求性の乳酸菌、酵母、枯草菌、大腸菌の成育度を用いた微生物学的定量法 (バイオアッセイ) により分析されている (32)。

有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (55) Harper's Biochem 23th.ed.
[\(PMID:3925859\) Ann N Y Acad Sci. 1985;447:297-313.](#)
[\(PMID:9523856\) J Pediatr Gastroenterol Nutr. 1998 Mar.26\(3\):245-50.](#)
[\(PMID:15917019\) Prev Med. 2005 Jul;41\(1\):253-9.](#)
[\(PMID:18071266\) Biosci Biotechnol Biochem. 2007 Dec;71\(12\):2977-84.](#)
[\(PMID:11302404\) Ann Pharmacother. 2001 Apr;35\(4\):424-6.](#)
- (32) 生化学辞典 第4版 東京化学同人
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
- (101) 消費者庁 食品表示基準について 別添 栄養成分等の分析方法等
日本食品標準成分表 2020年版 (八訂) 文部科学省
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)